



鹿児島地域における脳卒中地域連携促進を目的に発足致しました研究会
「鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会」(KAgoshima Stroke Area Network : **KASTANet**)
にいつもご協力、ご参画頂き、本当に有難うございます。

本研究会の活動をより多くの登録医療機関の皆様を知って頂きたいと思い、**かすたねっと通信**を発行致しています。これからも、研究会の活動などを定期的に配信して参りますので宜しくお願い致します。

今回は、先日2013年7月18日に開催致しました第12回研究会の様子をご紹介します。
研究会には318名の方々に御参加いただきまして、誠にありがとうございました。



(会場の様子)

「PT・OT・ST小委員会では、アンケート調査を実施し療法士の意見より、連携バスのマニュアルを考える部会・リハビリテーションサマリーを考える部会・顔の見える連携を考える部会を設置し、今後地域の連携強化に努めてまいります。御協力よろしくお願い致します。」。

梅本様・中村様からコメントを頂きました。



(東京湾岸リハビリテーション病院 近藤 国嗣先生)

今回は特別講演として、東京湾岸リハビリテーション病院 院長
近藤 国嗣 先生から千葉県共用脳卒中地域連携パス (CAMP-S)
に関するご講演を賜りました。

近藤先生からコメントを頂きました。

鹿児島脳卒中地域連携ネットワーク研究会にお呼び頂きまして有難うございました。帰郷の際に空港バスの車窓から桜島を見るたびに「わが胸の燃ゆる思いに～」が思い出されますが、研究会では鹿児島の皆様方の脳卒中連携に対する燃ゆる思いを感じさせていただきました。脳卒中連携はどうしてもパスの内容や、情報伝達システムが注目されますが、人と人とのつながりこそが一番だと感じております。千葉県も医療規模は大きいですが、顔の見える関係が構築できるような会議運営、さらに会議後の「飲んかた」で地道に連携を広げてきました。鹿児島と千葉は離れておりますが、より深化した連携構築へ向けて、ともに頑張っていきましょう。鹿児島の間人としてこれからも宜しくお願い致します。



(施設紹介ブースでの意見交換の様子)

次回・第13回研究会は **2013年11月11日**に
城山観光ホテルにて開催させて頂く予定で
ご意見・ご質問などございましたら、
研究会事務局までお気軽にご連絡ください♪